

つなぎます

あなたの

こころとからだ

## 祝 ♪ T T A K 新聞 1 周年



今年の桜も満開に終わり、私達の目を楽しませてくれましたね。さあ!心も身体もわくわくする 季節の到来です♪あなたは、もうゴールデンウィークの予定は立てましたか?外に出て、いっぱいの 日差しを浴びてみませんか?

我が、TTAK新聞はめでたく 1周年! を迎えることが出来ました。これを記念してTTAK新聞を 作っているこんな美女2人にインタビューしてきました。

## TTAK新聞を作っているのはこんな人! 湯口 弥生さん 三阪紗代子さん



Q:いつもカラフルで楽しい新聞ありがとうございます。まずは、自己紹介からお願いします。

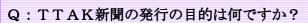
湯:私は、播磨病院に就職して6年目になります。看護師になって1?年です。始めはパートで内科外来に配属され まして現在は5病棟で三交代しています。

三:私も播磨病院に就職して6年目になります。現在、湯口さんと同じ5病棟に勤務しています。

Q:TTAK新聞に関わるようになったいきさつは何ですか?

湯:TTAKメンバーになってからしばらくしてTTAKのチェアマンの S先生に『コメディカルの資格を広報するものを作りたいんだけど、 見栄えよく・派手に・読みやすい・新聞みたいな形で 作ってもらえないかな?』と頼まれたのがきっかけです。 パソコンを触るのが好きでしたし、そういうものでパソコンを 使えば使うだけ上手くなるものかな?と思って引き受けました。

三:私は、5病棟のもう一人のTTAKメンバーが異動になって 後任を任されました。その時に、『湯口さん一人だと大変だから 助けてあげて』と言われて引き受けました。パソコンも 上達したいと思いましたし・・・。



湯:発行のお手伝いを頼まれた時は『宣伝』という事しか聞いていないように思うのですが作っていて思ったのは…

★院外に対しては『播磨病院のコメディカルにこんな資格を持った人がいる。こんな学会で発表した人がいる。というの を知ってもらう事で安心して病院を利用してもらうことが出来るのではないか』というのと・・・



\* 院内に対しては『院内にこれだけ頑張っている人がいるというのを知ってもらい自分もやってみたかった 資格を取ってみようかなという人の参考になり意欲を高めることができる』それが病院全体の活性化にも 繋がるのかなと考えています。

Q:新聞のレイアウトや色使いなどデザインなど毎回好評ですがどのように作っているのですか?

湯:好評なんですか?うれしいです。

作る時に気をつけているのはその月の行事など季節感を出すようにイラストを取り入れて作っています。又 その季節やインタビューを受けてくださった人のイメージを出せるように色使いに気をつけているつもりです。

三:私はまず、見た目に息苦しくならないように、行間がつまらないように気をつけているつもりです。 そして、読んでいて楽しくなるような新聞にしたいと思っています。 それから、写真を撮るときにも自然体で撮れるように気をつけているつもりです。

## Q:TTAK新聞の作成に関して苦労はいかがですか?

三: 私は、パソコン初心者なので、いつも湯口さんに教わりながら作っています。イラストの入れ方から 分からなかったので、初歩の初歩からです。

湯:私もパソコンの達人ではないので、分からないことも多いのですが『新しいこと発見!』ということもあり、楽 しんで作らせて頂いています。新聞の内容としてはもっと掘り下げて聞きたいと思うことがあっても、他部門の 事だと分からないことが多いので何を聞いたらいいのかも分からない・・・ということもあり『もっと勉強しないといけ ないな~』と思うところです。

三: 私は、学会発表の時の裏話なんかをもっと聞いてみたいと思います。

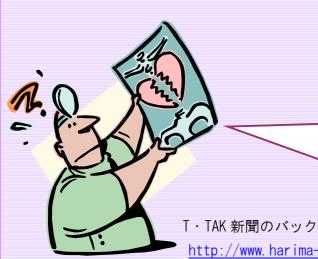
## Q:TTAK新聞を作るにあたっていろいろな苦労をされているのですね。では、最後に新聞作成を通じての感想をお願い します。

湯:新聞作りをさせていただいて、いろんな資格のことを知る機会になりました。

自分とは関係ないなと思っていた資格でもインターネットなどで調べていて、全く関係ないということではなく 反対にもっと知っておかなければならない事かも・・・と感じる事もあります。エキスパートにはなれませんが、い ろんなことに興味を持って勉強することが必要だと感じさせられています。

三:私は、新しく勉強したいと思っていたパソコンを湯口さんのお陰で少し出来るようになったことをとてもうれし く思っています。性格的に追い込まれないとしない方なので、こうやってパソコンを使うことを与えられてよか ったと思います。

今後もパソコンの師匠である湯口さんに教えてもらいながらTTAK新聞作成に頑張りたいと思います。



湯口さん・三阪さんありがとうございました。

さて、私も今月から2人の指導を受けながら院内の活性 化に繋がる楽しい新聞を一緒に作っていきたいと思いま す。みなさんこれからもよろしくお願いします。

次回は医事科 中津 純子さんの『静脈経腸栄養学会で の発表について』です。

お楽しみに 🚤 🥕



T・TAK 新聞のバックナンバーは、播磨病院ホームページ http://www. har ima-hp. jp/main. htm からご覧いただけます。